

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年9月分)

1. 調査実施期間 平成23年 8月20日 ~ 9月10日
2. 調査実施方法
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は35社、回収率は83.3%である。
3. 判断指数の算出方法
各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/9月	10月	11月
仕入動向	国産材	-5.8	0.0	-5.8
	外材	-6.1	0.0	-10.6
販売動向	国産材	-3.8	-3.8	-9.6
	外材	-4.5	-3.0	-7.6
在庫動向	国産材	-6.0	-2.0	-4.0
	外材	-9.1	1.5	-6.1

仕入れは、国産材、外材ともマイナス基調が、秋需で一時、持ち直した後、再びマイナスに。
販売も国産材、外材ともマイナス基調で、11月にはマイナス幅拡大。
在庫は、国産材、外材ともマイナス基調、外材は一時プラスに転じるも再びマイナスに。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/9月	10月	11月
スギ正角(グリーン)	-5.9	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-5.6	-5.6	0.0
ヒノキ正角	-2.5	0.0	0.0
ヒノキ土台角	-2.4	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-9.1	-2.3	0.0
米ツガ防腐土台角	-2.4	-2.4	-2.4
米ツガ割物(現地挽)	-7.5	-2.5	0.0
米マツ平角	0.0	-2.8	-2.8
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-5.0	-2.5	-2.5
ホワイトウッド集成管柱	-15.8	0.0	0.0
レッドウッド集成平角	-9.4	-3.1	-3.1
型枠合板(国産)	-26.7	-16.7	-6.7
型枠合板(輸入)	-23.5	-17.6	-5.9
針葉樹合板	-6.3	-3.1	0.0

スギ正角、特にKDは弱含んでいるが、11月に向けてはほぼ横ばい、ヒノキ正角、土台はやや弱含みも、ほぼ横這い。
米ツガは総じて弱含んでいるが、正角・割物(現地挽)は横這いへ、土台角はやや弱含み。
米マツ平角は、横ばいからやや弱含み。
北洋アカマツタルキは、やや弱含み。
WW集成管柱、RW集成平角とも弱含みだが、マイナス幅縮小、WWは下げ止まり。
合板は、型枠は国産、輸入とも大幅マイナスも、マイナス幅縮小、針葉樹は、弱含みもマイナス幅縮小し、保合いへ。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>円高で産地高唱えと中国の旺盛な買いに困っている。当面仕入れの予定はない。(東京:米材問屋)北米産丸太に関しては中国が国内港頭在庫減少から再び積極的な手当に入っており、特に白系丸太では伐採林区ごと総浚いで、丸太確保が非常に厳しい状況。(東京:米材問屋)7月~8月と当用買いした。(東京:外材問屋)</p> <p>プレカット工場の稼働状況は8月に引き続き多忙。10月以降の予定はやや減少傾向。(東海:外材問屋)</p> <p>南洋材は入荷少なくなったような仕入れができない。中国材の入荷は順調。(東京:南洋・中国材問屋)産地価格は高止まり。中国製品は人民元高から引き続き強含み。(東京:南洋・中国材問屋)多少入荷は増加、製品の質が落ちている。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>新材製品が出回るまで仕入れは控える。(東京:国産材問屋)小ロットでの発注が多く運搬面できゅうくつ。(東京:国産材問屋)台風被害により生産量のダウンは必至。需要がさほどではなく混乱は防げそう。(東京:国産材問屋)</p> <p>台風の影響で製品量減ると予想するが、現状では積極的に買えない。(東京:国産材問屋)</p> <p>必要量は問屋センターから引取りそのまま配送。(東京:仲買・小売)8月は日数少なく低調。(東京:仲買・小売)</p>
販売動向	<p>引き合いは多いものの、価格面で非常に厳しい商売を強いられている。(東京:米材問屋)米マツ一般材丸太は京浜マーケットでは需要回復には、ほど遠い状況下でメーカーの丸太手当は全く進んでいない。(東京:米材問屋)</p> <p>7月、8月と予想以上に売り上げがあった。(東京:外材問屋)ツガ、米マツとも動きは良くなっていない。特に角材に比べ、割物の動きが悪い。(東京:外材問屋)プレカットは大忙しなのに、流通は全く静か。今後の造作材に期待。(東海:外材問屋)流通の動きは、あまり良くない。(東海:外材問屋)</p> <p>産地価格上昇分を販売価格に転嫁しづらい。見積もりは多いが相見積もり多く、実際の仕事は多くない。(東京:南洋・中国材問屋)利物(ききもの)少なく売り上げ減。(東京:南洋・中国材問屋)盆休みの駆け込み仕事はあったものの、造作の見積もりは少ない。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>秋需の期待はあるものの数量的には不透明、価格の維持が困難で下落傾向が強い。(東京:国産材問屋)構造材にやや動きが出てきた。(東京:国産材問屋)役物の動きは非常に悪い。(東京:国産材問屋)</p> <p>国産材不振の中、貫、胴縁の販売量が増えている。大きな増改築がいくつかあり、荷動きは比較的良好。(東京:仲買・小売)問い合わせ程度の話が若干ながら出始めた。(東京:仲買・小売)8月後半から急激に落ち込んだ。世間的には10月に回復するのだろうが、我社には明るい話なし。(東京:仲買・小売)多少の動きあり、これが本格化するのを望む。(東京:仲買・小売)荷動き堅調。(東海:仲買・小売)プレカット工場は忙しいと聞くが、我々の商売は全く暇です。(大阪:仲買小売)内閣が替わっても何等変化なし。(大阪:仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>先の入荷は無いとはいえ、荷傷みを考えると売っていかねばならず、辛いところ。(東京:米材問屋)米マツ一般材丸太は8月京浜港への本船入荷があり、問屋の手持ち在庫は積み増されている。白系丸太は中国の積極的な買いにより日本国内の丸太不足は解消されていない。(東京:米材問屋)在庫減のため9月は増やす予定。(東京:外材問屋)入荷順調で在庫積み増し状況。(東海:外材問屋)</p> <p>中国材の入荷があり在庫は増えている。南洋材の入荷は少なく、ラワン類は足りない。メルクシFJLのバランスは取れている。(東京:南洋・中国材問屋)予定していた物件が延期になるなどで在庫は若干増加。埠頭在庫も入荷により若干増加したが相変わらず欠品している製品も多い。(東京:南洋・中国材問屋)端材のみ増加。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>多少の積み増しはあるものの、当用買いの中での動き。先安感が強い。(東京:国産材問屋)</p> <p>アカマツ良材は早めの手当で在庫を増やしている。(東京:仲買・小売)常時動く材のみ在庫。(東京:仲買・小売)</p> <p>必要な材を確保しており在庫は横這い。(東京:仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>スギKD材の需要が落ち込み、価格の下落が心配。(東京:国産材問屋)8月、9月価格は落ち着いている。(東京:仲買・小売)グリーン材は、バタ角くらいしか需要がなくなった。(東京:仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海:外材問屋)</p>
米ツガ	<p>一般ルートが盛り上がり欠けるため、相場も良くない。(東京:外材問屋)</p> <p>変化なし。(東海:外材問屋)</p>
米マツ平角	<p>荷動き良く、価格横ばい。(東海:外材問屋)</p>
北洋アカマツ ツタルキ	<p>3m良材の手当に気を遣っている。(東京:仲買・小売)横ばい、品物も揃う。(東海:外材問屋)</p>
WW・RW 集成材	<p>WW柱は、下げ止まり。RW中断面は弱保合い。(東京:外材問屋)WWだぶつき気味で価格弱い。(東京:集成材問屋)国産WW管柱1,700円/本、先物(9月、10月積)1,650円/本、RWは55,000円/m3前後。(東海:外材問屋)WWは、そろそろ下げ止まりではないか。(東京:仲買・小売)</p>
合板	<p>価格は横ばい、品物は4~5日で揃う。(東海:外材問屋)</p> <p>一般的に弱い。ラワンの安値品が出ている。(東京:仲買・小売)輸入型枠は商社によりばらつきがあり、針葉樹合板も同様。(東京:仲買・小売)今月は価格が弱くなっている。(東京:仲買・小売)</p> <p>合板は下落している。(東海:仲買・小売)</p> <p>流通・単価とも落ち着いている。(大阪:仲買)</p>